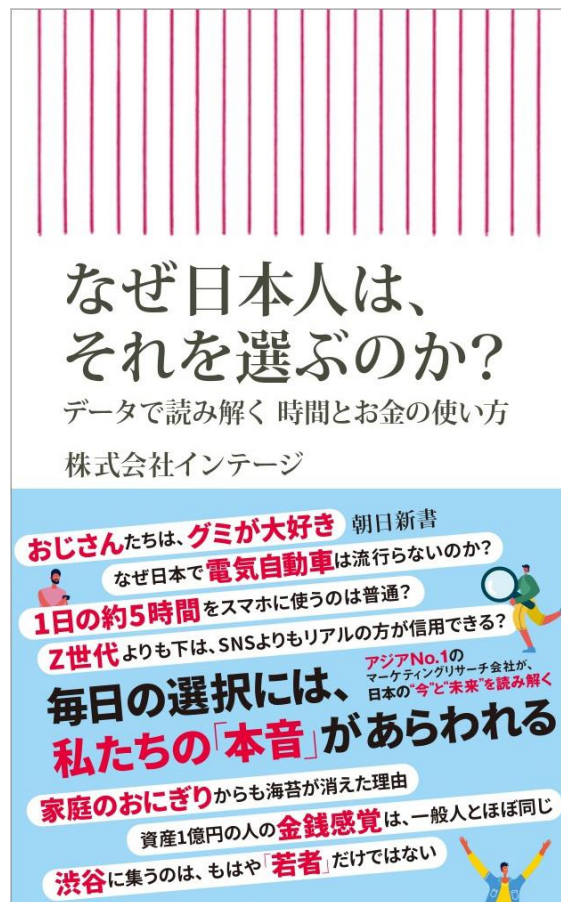


日本をデータで可視化 不確実な時代をどう乗り切るかの羅針盤 「なぜ日本人は、それを選ぶのか？ データで読み解く時間とお金の使い方」4月13日刊行

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、取締役社長:檜垣 歩、以下インテージ)は、「なぜ日本人は、それを選ぶのか？ データで読み解く時間とお金の使い方」を4月13日に刊行しました。発売前から注目を集め、本日発売即重版が決定いたしました。

【本書の特徴】

- ①国内最大級の膨大かつ良質なデータと、客観的な分析
- ②食卓や買い物、スマホの使い方や金融資産など、身近な題材多数
- ③各章が細かく分けられ、興味のあるデータ、内容から読める構成
- ④新書版では異例の、約170点の図表。一目で分かる詳細図解
- ⑤データにあまり親しみのない人から、営業や新商品開発、マーケティングの仕事をするビジネスパーソンまで役立つ



自社の保有する国内最大規模の購買データなどを活用し、物価高や少子高齢化が進み、生成 AI が台頭する不確実な時代に、どのように選択し、どう生きるかの羅針盤となる一冊です。

一般の方だけでなく、ビジネスパーソンにとっても、生活者の潮流を理解し、今後の変化への備えをご検討いただける内容となっています。

国内最大、アジア No.1 のマーケティングリサーチ／インサイト事業*のインテージグループ。その中核企業のインテージが、全国 7 万人の買い物データや約 6,000 店舗の小売店販売データ、メディア接触ログや金融調査データなどを駆使し、今の日本や生活者を多角的に分析します。さらに時代や年代を通じた意識変化からの将来予想、未来の日本を担う α 世代研究、生成 AI 時代の情報接触からマーケティングのヒントまで、各分野のスペシャリスト 14 人が、深く分かりやすく執筆しています。

【目次】

はじめに 羅針盤とともに未来の航海へ

第 1 章 データから解き明かす「令和の生活者」

第 1 節 「食卓」は、時代を映す鏡である

第 2 節 コロナで激変した「物の買い方」

第 3 節 タイパ時代に「時間」はどう消費されているか？

第 4 節 令和の生活者は「お金」とどう向き合うか？

第 5 節 「人の動き」から、あの街の今がここまでわかる

コラム 横糸と縦糸で読み解く世界

第 2 章 令和の「価値観」と「生活スタイル」

第 3 章 日本の未来を見通す「注目すべき世代」

第 4 章 四つの潮流が組み替える“選択プロセス”AI時代の生活者理解をめぐる試論と企業戦略の可能性

結びに 羅針盤とともに未来の航海へ

【書籍情報】

『なぜ日本人は、それを選ぶのか？ データで読み解く、時間とお金の使い方』

株式会社インテージ 著

新書判並製 320 ページ

定価：1,045 円(税込)

発売：2026 年 4 月 13 日

発行：朝日新聞出版

ISBN：978-4022953513

[Amazon.co.jp: なぜ日本人は、それを選ぶのか？ データで読み解く時間とお金の使い方 \(朝日新書\): 株式会社 インテージ: 本](https://www.amazon.co.jp/dp/9784022953513)

インテージでは今後も、生活者の幸せとお客様企業のビジネス発展のために、データや分析をはじめ、様々な情報を発信していく予定です。

【株式会社インテージ】 <https://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージは 1960 年に創業。インテージグループとしてアジア No.1*であるマーケティングリサーチ／インサイト事業に加えてマーケティングソリューション事業を展開し、9 か国の海外拠点とともに国内外の企業・団体のマーケティング活動を総合的に支援しています。事業ビジョンとして“Create Consumer-centric Values”を掲げ、深い生活者理解とデータ活用の高度化による顧客企業支援を通じ、生活者の幸せの実現を目指しています。

*「ESOMAR's Global Top-50 Insights Companies 2025」に基づく(グループ連結売上高ベース)

【インテージグループ】 <https://www.intageholdings.co.jp/>

(東証プライム市場 証券コード:4326)

インテージグループは 1960 年の創業以来、さまざまなデータを収集・加工・分析し、当グループならではのインサイトを加えてお客さまに提供。その意思決定を支援してきました。お客さまのパートナーとして「問い」に寄り添い、生活者理解とテクノロジーを融合させて「次の一手」を導きます。

【本件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 販促担当

サイト「お問い合わせフォーム」: <https://www.intage.co.jp/contact/>

【報道機関からのお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当: 下河原／水口

TEL: 03-5294-6000

サイト「お問い合わせフォーム」: <https://www.intage.co.jp/contact/>